

## かいごの学校

待合室やサロンに「かいごの学校」という雑誌がおいてあるのにお気づきでしょうか。この雑誌の口腔ケアの項目で僕が連載しているの位置いてあります。ただ、普通の雑誌と異なり、少し深い思い入れがあります。実は、この雑誌の編集長は以前からの友人で、雑誌を作るかなり前から計画を聞いていました。

介護に関する雑誌は専門職対象のものが多く、実際に介護をされている家族向けのようなのは少なかつたそうです。その理由は、一体どれくらいの人数の人が介護の現場で雑誌を読むのか把握しきれないからだと聞き、なるほどと思いました。そ



こで彼は会社の命令もあり、数ヶ月間リサーチを行い、手ご

たえを感じてようやく発刊したそうです。

先月、創刊第5号が発刊されましたが、かなり内容も充実してきているようです。ぜひ手にとっていただき、感想も聞かせてください。直接彼にも伝えますから。

## むし歯を削る！

歯医者に来られる方の中で、むし歯が原因の方も多くおられます。

「早期発見、早期治療」大切なことですよね。って本当でしょうか。

人間の体はいろんな障害に対する防御機構が備わっています。いわゆる「免疫（めんえき）」などがそうです。とは言え、むし歯になるとなかなか元には戻ってくれません。しかし、エナメル質と言われる歯の表面の硬いところが抵抗してくれるお



かげでむし歯が急激に進行しないよう守ってくれています。

さて、むし歯の治療になると歯を大きく削って金属を入れていきます。その時、防御機構でもあるエナメル質も削らなくてはなりません。本当にそれでいいのですか？

来院される方の中には小さなむし歯も見つけてこられ、治療を依頼される場合があります。しかし、僕たちの本当の仕事は、「今削るべきか、否か」の判定をすることです。そして多くの方が「このまま様子を見ましよう」というレベルです。

最近では学校検診でも「要観察歯」という分類ができています。ようやく歯を削ることの危険性に気づいたのですね。